

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【公表番号】特表 2001-511050 (P2001-511050A)

【公表日】平成 13 年 8 月 7 日 (2001.8.7)

【出願番号】特願 平 11-528635

【国際特許分類】

**A 6 1 B 10/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 10/00 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 8 日 (2005.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手続補正書

平成17年 月8日

特許庁長官 中嶋 誠 殿

## 1. 事件の表示

PCT/US98/23752

平成11年特許願第528635号



## 2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 アメリカ合衆国 カリフォルニア州94704  
バークレイ, ユニバーシティ・アベニュー, 1995 #400

名 称 サイエントフィック・ラーニング・コーポレーション

国 籍 アメリカ合衆国

事件との関係 特許出願人

住 所 アメリカ合衆国 カリフォルニア州94607  
オークランド, フランクリン・ストリート, 1111, 12階

名 称 ザ・リージェンツ・オブ・ジ・ユニバーシティ・オブ・  
カリフォルニア

国 籍 アメリカ合衆国

## 3. 代理人

住 所 〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目18番19号  
三井住友銀行名古屋ビル7階

電話番号 052-218-5061

連絡先 担当は井上佳知

氏 名 (9681) 弁理士 五十嵐 孝雄



住 所 同 上

氏 名 (9714) 弁理士 下出 隆史



4. 補正対象書類名  
明細書

5. 補正対象項目名  
請求の範囲

6. 補正の内容  
別紙のとおり

出願時請求項2～11, 24～33が削除された。出願時請求項(補正後請求項4, 6, 7, 9および14)14、16、17、19および23が補正された。請求項13が追加された。

(別紙)

請求の範囲

1. プロセッサ、刺激装置および入力装置を有するシステムにおける、損なった運動制御を有する個体の部位の運動制御を改善する方法であって、前記刺激装置は機能的に前記部位に結合されており、前記方法は、

a) 前記部位内の複数の位置から第1の位置および第2の位置を選択し、前記個体は前記第1の位置および第2の位置との識別の感知に困難さを有し、

b) 前記刺激装置を用いて前記第1の位置および第2の位置を区別をつけて刺激し、

c) 前記入力装置を介して前記個体からフィードバックを受取り、そのフィードバックは前記第1の位置および第2の位置の識別の感知に関して前記個体が有する困難度を示し、

d) cからのフィードバックに基づいて刺激を変化させることにより適応してbを繰り返す方法。

2. 損なった運動制御を有する個体の部位の運動制御を改善する感覚刺激システムであって、

前記部位内の複数の位置から第1の位置および第2の位置を選択するプロセッサと、前記個体は前記第1の位置および第2の位置の識別の感知に困難さを有することと、

前記部位に機能的に結合されていると共に前記第1の位置および第2の位置を区別をつけて刺激する刺激装置と、

自身を介して前記個体からフィードバックを受取る入力装置と、そのフィードバックは前記第1の位置および第2の位置の識別の感知に関して前記個体が有する困難度を示すことと、前記刺激装置は前記個体からのフィードバックに基づいて前記識別刺激を適応して変化させることを備える感覚刺激システム。

3. 請求項2に記載の感覚刺激システムにおいて、

前記プロセッサはさらに前記個体からのフィードバックに基づいて前記複数の位置から第3の位置を選択し、

前記刺激装置はさらに前記第1の位置および第3の位置を区別をつけて刺激し、

前記入力装置は前記個体から前記第1の位置および第3の位置の識別の感知に関して前記個体が有する困難度を示すフィードバックを受取り、前記刺激装置は前記個体からのフィードバックに基づいて前記識別刺激を適応して変化させることを備える感覚刺激システム。

4. 請求項2または3に記載の感覚刺激システムにおいて、前記個体の前記運動制御障害は、運動中枢失調、神経傷害または神経疾患に関連する感覚刺激システム。

5. 請求項4に記載の感覚刺激システムにおいて、前記運動中枢失調は反復過労傷害（RSI）によってもたらされる感覚刺激システム。

6. 請求項2から請求項5のいずれかに記載の感覚刺激システムにおいて、前記刺激装置は前記第1の位置および第2の位置における刺激を時間的あるいはスペクトル的に適応して修正する感覚刺激システム。

7. 請求項2から請求項6のいずれかに記載の感覚刺激システムにおいて、前記個体が前記刺激に挑むことを促すために動機付報酬が前記個体に与えられる感覚刺激システム。

8. 請求項6に記載の感覚刺激システムにおいて、前記刺激の前記スペクトル修正は前記刺激の強度あるいは増幅度の修正を含む感覚刺激システム。

9. 請求項2から請求項8のいずれかに記載の感覚刺激システムにおいて、前記刺激は体性感覚、固有感覚および運動感覚である感覚刺激システム。

10. 請求項9に記載の感覚刺激システムにおいて、前記体性感覚刺激は触感、圧迫あるいは織地刺激を含む感覚刺激システム。

11. 請求項3に記載の感覚刺激システムにおいて、前記第1の位置および第2の位置

間の距離は前記第 1 の位置および第 3 の位置間の距離よりも大きい感覚刺激システム。

1 2. 請求項 3 に記載の感覚刺激システムにおいて、前記第 1 の位置および第 2 の位置間の距離は前記第 1 の位置および第 3 の位置間の距離よりも小さい感覚刺激システム。

1 3. 請求項 2 に記載の感覚刺激システムにおいて、前記プロセッサはさらに、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置の間隔を改善するために、前記固体からの前記フィードバックに基づき前記刺激を適応して変化させる感覚刺激システム。

1 4. コンピュータ読み取り可能なプログラムを格納するコンピュータ読み取り可能媒体であって、前記プログラムは、損なった運動制御を有する個体の部位の運動制御を改善すると共にプロセッサ、前記個体の部位に機能的に結合されている刺激装置および入力装置を有する感覚刺激システムと共に有用に用いられるものであり、前記コンピュータ読み取り可能媒体は、

前記プロセッサに前記部位内の複数の位置から第 1 の位置および第 2 の位置を選択させるコンピュータ読み取り可能コードと、前記個体は前記第 1 の位置および第 2 の位置の識別の感知に困難さを有することと、

前記刺激装置に前記部位に機能的に結合されていると共に前記第 1 の位置および第 2 の位置を区別をつけて刺激させるコンピュータ読み取り可能コードと、

前記入力装置に自身を介して前記個体からフィードバックを受取らせるコンピュータ読み取り可能コードと、そのフィードバックは前記第 1 の位置および第 2 の位置の識別の感知に関して前記個体が有する困難度を示すことと、

前記刺激装置に前記個体からのフィードバックに基づいて前記識別刺激を適応して変化させしめるコンピュータ読み取り可能コードとを備えるコンピュータ読み取り可能媒体。